

CURIOUS MINDS

発行：せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

平成21年11月 第26号

*せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。
「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”と一緒に考えていきましょう。

～“curious minds”の願い～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）を大切に考えています。
せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩み出していこう、
という思いで、この広報紙を“curious minds”（キュリアス・マインズ）と名付けました。

活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステinformation

大型フォーラム「履歴書に書けない空白の時間」にも意味がある!!のご報告

＝約160名が参加＝ 若者の生の声に感動集まる

前月号で予告しましたが、さる11月7日(土)仙台市福祉プラザにおいて、NPO法人わたげの会・せんだい若者サポートステーション合同フォーラムを開催いたしました。

様々な講演会が開催された日にも関わらず、160名もの方においでいただき、会場は冷房が必要なほどの熱気に包まれました。

第1部の基調講演では、理事長の秋田敦子より「親はじっくり構える事が大切。本人も『空白の時間』を胸を張って話せるようになれば」との話がありました。

熱心に耳を傾ける会場



第1部 秋田敦子による基調講演の模様



アンケート結果より



回収率は7割近くに上り、皆様のご協力に感謝申し上げます。

来場者の顔ぶれは、若者ご本人とご家族がほぼ同数、男女比もほぼ同数でした。

第1部～第3部のいずれも9割の方が「とてもよい」もしくは「よい」と評価してくださいました。

特に第3部では「とてもよい」が約70%でした。加えて「若者の気持ちがダイレクトに伝わってきた」「話を聞いて、勇気がわいてきた」「信じて待つことの大切さがわかった」などの心のこもった感想をいただきました。

今後も、頂いたご意見を参考に、よりよいものをお届けします。

出前相談会のお知らせ

～H21.12月・H22.1月の予定

終日(10:00～16:00)、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。
(仕事の紹介・斡旋ではありません)

- ◎ H.21 12月8日(火) 大河原合同庁舎
(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
- ◎ H.21 12月22日(火) 仙台保健福祉事務所岩沼支所(塩釜保健所岩沼支所)
(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)
- ◎ H.22. 1月12日(火) 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所(塩釜保健所)
(塩竈市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
- ◎ H.22. 1月19日(火) 仙台保健福祉事務所黒川支所(塩釜保健所黒川支所)
(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

＜対象となる方＞

- ・「仕事をしなきゃとは思っているけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればいいか…」とお考えのご家族の方など

是非足をお運びください

道は必ずあると思います。
この出前相談会がそのきっかけになれば、幸いです。
お待ちしております。

バックナンバーは
ホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。
もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、http://www.saposute.ne.jp

かきこみ処 さぼす亭

いらっしやいませ。“かきこみ処 さぼす亭”でございます。
こちらは、せんだいサポステメンバーが担当するコーナーです。
赤や黄色の落ち葉の絨毯しきつめて、いそいそと冬支度。
「きょうちゃん」がお送りいたします。

<今月のおしながき> ～ロードウ 第一章～

◇こんにちは。立冬も過ぎ、寒さの質が晩秋から初冬へと変わる時期ですね。身体を冷やすと、体調だけでなく心の状態まで不安定になります。温かいものを食べたり、温かいものに触れたりして、積極的に健康を保ちましょう。



◇今回のさぼす亭のテーマは、“働くとはどういうことか”です。

◇ここで、わたしの主観で結論から先に言わせていただくと、「働くとはどういうことか、よくわからない」です。……おしまい。え？もうおしまい？！もっと真面目に書けよ！！と、読んでくださっている方に叱られそうですが……。締め切りが迫って来ているのに記事が書けないから原稿を書くのを放棄したわけでも、手がかじかんでキーボードが打ちづらいから早めに終わらせようとしたわけでもなく、「答えはいろいろありすぎて、考えきれない」のです。

◇働くとは、字のごとく人が動くこと。人はなぜ動くのかといたら、生きるために必要不可欠だからです。ご飯を作るのも、洗濯をするのも、掃除をするのも、動かないことにはできません。広い意味では、そういったことも「働く」に入ると思います。働くことは、生きる術なのと言えます。その、生きる術の中のひとつとして、生活をするのに必要なお金を得るために仕事をする、があるのではないのでしょうか。お金がなければ、生活していけない、だから働く。これは、働くことの中で大きな意味を占めると思います。

◇でも、働くことの理由は、必ずしもお金(生活)のためだけではありませんよね。例えば、仕事をして自分の可能性を見つけようというのも、“働くとはどういうことか”の答えのひとつですし、名誉や名声のために働くというのも答えとして成り立ちます。また、働くことは、自分が何者であるか、社会とどう関わっているかを確認する手段とすることもできます。人は、誰かに必要とされることで精神的に満足感が得られるそうです。これも、働くことの意味に関係してきますよね。自分の誠意を役立てて、他者に貢献する喜びを感じることも、素晴らしいことだと思います。

◇このほかにも、働くことについて挙げて行ったら、さまざまな答えが出てきそうですね。人の数だけ、違う意見がありそうです。では、あなたにとって、働くとはどういうことですか？

◇働くのって、よくわからない。そんなときは、働くとはどういうことかを知るために働くのもアリだと、思います。
自分なりの答えが出せたら良いですね。



◇働く場所があるということは、実社会の中に自分が居られる場所(自分の居場所)があるということです。働くということは、人間らしく生きることのひとつの道なのではないかな……と、わたしは今回の記事を書いていて、感じました。

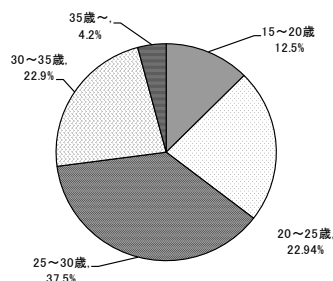


といったところで、今月の “かきこみ処さぼす亭” はお開きです。ありがとうございました。

せんだいサポステDATA (平成21年11月17日現在)

登録者数 **286名** (男女比は65:35)
相談件数 **2,853名** (1日平均 **4.9名**)
イベント参加者数 **2,873名** (1回平均 **6.5名**)

登録者の年齢では、H21年度は20代後半の割合が最も多くなっています。(右グラフ参照)。
「職業経験有り」は7割以上。形態は、正社員、派遣社員、アルバイト、日雇い派遣など様々です。



編集後記

寒さが厳しさを増しています。その分、心の温かさに敏感になる季節でもあるような気がします。

誰もが、実は人との心の触れ合いを求めるからこそ、人の反応に敏感になり、嫌われるのを恐れて距離を置いたり、壁を作ったりするのかもしれない。

せんだいサポステに集う若者たちの多くも、「人が怖い」けれども「仲間が欲しい」という想いを抱えています。に「心の扉」を開くのは、最終的には自分自身ですが、サポステをきっかけに「人っていいものだな」と感じてもらえたらと思っています。(松井)